

「成城学園第2世紀プラン2021」

新中期計画（2021～2023年度）を策定

－ 一つの時代にも「質の高い教育」を実践し「変える力」を育みます －

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：油井 雄二）は、新中期計画「成城学園第2世紀プラン2021」を策定いたしました。

「成城学園第2世紀プラン2021」は、2017年に迎えた学園創立100周年を「学園第2世紀の始まり」と捉え、それを機に策定・実践してきた中期計画「成城学園第2世紀プラン」（2014～2020年度）をさらに深化させた中期計画となります。

学園第2世紀に於ける第2次中期計画と位置付けた新中期計画は、当初5ヶ年計画でその策定を進めておりました。しかし、コロナ禍の状況下で5年先を見通すことは困難だと判断し、社会の変化に対処・対応する期間として、あるいはその先の社会状況を見極める期間として、3ヶ年の計画としました。

学園目標

一つの時代にも「質の高い教育」を実践し「変える力」を育みます。

重点事項

- ◇教育改革三本柱（国際、理数系、情操・教養）のさらなる充実・深化
- ◇ワンキャンパス、一貫校を活かした特色の強化
- ◇学校間の連携の強化

成城学園は、日本教育界の重鎮であった澤柳政太郎（1865-1927）が1917（大正6）年に成城小学校を創設したことに始まりました。成城学園創立者の澤柳先生が唱え、建学の精神にも掲げられている「独立独行」。澤柳先生が目指した教育の理想は、100年を経た今もなお成城学園に受け継がれています。

成城学園は、本中期計画の着実な実行を通し、コロナ禍で加速したデジタルシフトやSociety5.0、SDGsといった「新しい時代」を視野に入れ、成城学園らしい人間性とデジタルを融合させ、新しい教育を目指してまいります。

【ご参考】

第2次中期計画「成城学園第2世紀プラン2021」の概要は以下のページからご覧いただけます。

<https://www.seijogakuen.ed.jp/thought/consistant/topics/u8ej30000004c8i.html>